



◀マハタは大小にかかわらず大事にタモで取り込みたい



▲根に潜らないようハリ掛かりしたら素早く底から離すのがコツ

◀当日最大のマハタは2.2キロだったが、大原沖には4キロオーバーの大型も潜む

▶1.5キロ級。このサイズが釣れればうれしい



外房大原港出船

イワシ泳がせで狙う  
外房大原のマハタ好況

撮影●鈴木 良和



◀この日は大原沖の水深30メートル前後を狙った  
▶仕掛けはヒラメ用でOKだが捨て糸は長めの仕様が好適。オモリは80号  
▼取材日のエサはアジだが、目下はイワシを使っている



生きエサが使用できる秋〜春にかけて、外房大原方面でヒラメと並ぶ人気ターゲットがマハタ。大原港の春日丸ではマハタ&ヒラメ乗合で出船しており、マハタは1キロ前後を中心に2〜3キロ級を交えていい日はトップで3尾前後の釣果が上がっている。

釣り場は大原沖の水深30メートル前後。同船はマハタを狙った後にポイントを移動してヒラメを狙うリレー釣りでなく、マハタが多く生息している岩礁帯をメインにエンジン流しで両魚を狙うスタイル。高低差のある根周りを攻めるため、まめなタナ取りが必須で、仕掛けはヒラメとほぼ同じだが、捨て糸を長めの1メートル前後にしてエサが根掛かることを回避したい。

(詳細は50ページ参照)



▲1キロ前後がアベレージ。当日ヒラメは交じらなかつた

▲食味はヒラメより上とする人も  
▼船中オデコなしの日も多い



▲アカハタも上がった

